

学会参加報告書

R20-093 山本未来

学会名：日本放射線技術学会

第 51 回日本放射線技術学会秋季学術大会に参加しましたので、下記のとおり報告いたします。

1. 目的

研究発表を聴講し、発表資料の体裁や発表方法を学ぶ。

2. 日時

2023 年 10 月 27 日(金)~2023 年 10 月 28 日(土)

3. 場所

名古屋国際会議場

4. 所感

本学会では、主に放射線治療に関する研究発表を聴講しました。どれも専門性が高く、内容の理解が難しい印象を持ち、知識向上の必要性和日々の取り組みの大切さを感じました。また、発表資料の作成や発表方法について多くの学びがありました。スライドは、聴衆が情報を迅速に理解できるように、図表やグラフを用いて簡潔な文章に留めることや、見やすいフォントや色彩を選択することで、情報を視覚的に伝えることが大切であることを再確認しました。発表方法について、「大きい」「小さい」などの主観的な表現は避け、具体的な数値を使用した方が、聴衆に内容が伝わりやすいことを知りました。さらに、質疑応答の際は、誠実で的確な回答が信頼性を高め、学会参加者と有益な対話を可能にすると感じました。本学会では、卒業後進学予定の大学院にて所属する研究室の先輩方も発表しておられ、堂々と発表される姿が印象的で感銘を受けました。そして、来年度から彼らと同じ環境で研究に励むことができることに嬉しさを感じました。彼らから多くのことを学び、日々努力をして少しでも彼らに近づきたいと思いました。

本学会に参加したことにより、医療分野の最新の動向や研究成果を知ることができ、専門知識が向上しました。また、プレゼンテーション技術も学ぶことができました。これからも学会に積極的に参加し、多くのことを学び成長したいです。大学院進学後は、研究成果を発表する機会があると思います。その際は、本学会で学んだ発表資料の作成方法や発表方法を活かして、自信をもって発表したいと思います。